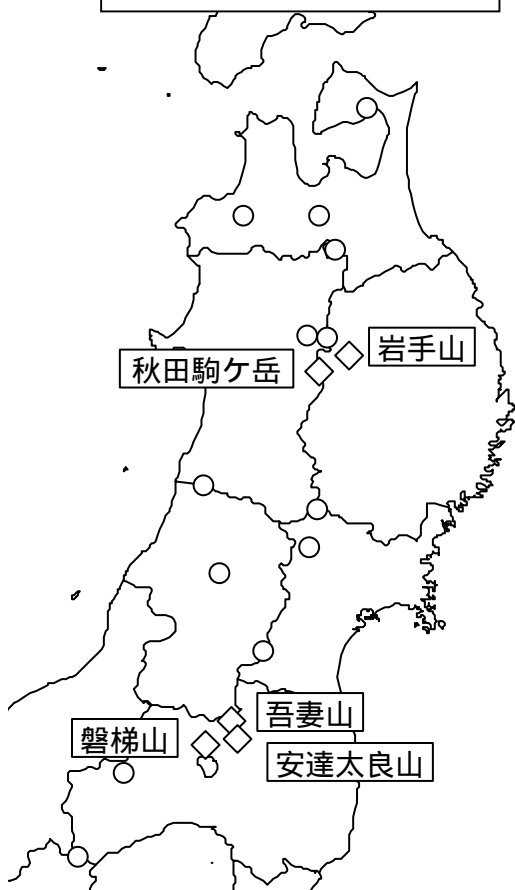


東北地方の火山活動解説資料(平成17年1月)

仙台管区气象台
火山監視・情報センター

東北地方の活火山



- : 噴火した火山
- : 観測データに変化があった火山
- : 解説を記載した火山
- : その他の火山

岩手山

岩手山西側(滝ノ上付近)を震源とする地震がやや増加しましたが、岩手山直下を震源とする地震の数は少なく、黒倉山山頂の噴気の状態にも変化はみられませんでした。

秋田駒ヶ岳

火山活動は穏やかに経過しました。

吾妻山

火山活動は穏やかに経過しました。
大穴火口(一切経山南側山腹)付近の噴気の状態に変化はみられませんでした。

安達太良山

地震活動等に変化はなく、穏やかな状態が続いています。

監視カメラによる観測では、沼ノ平火口付近の噴気が一年ぶりに観測されました。

磐梯山

火山活動は穏やかに経過しました。
山体北側火口壁の噴気の状態に変化はありませんでした。

震源データ等の準拠する測地基準系移行のお知らせ

日本における位置情報(緯度、経度、高さ)のもとになる測地基準系は、平成14年4月1日に施行された改正測量法で、従来の日本測地系から世界測地系(測地成果2000)に変わりました。

気象庁では、平成17年2月1日より、火山の位置、観測点、震源の位置を世界測地系に準拠したものに移行しました。これにより、平成17年2月1日以降に気象庁から公表・刊行等される火山の情報・資料は、特に日本測地系にもとづくものである注記があるものをのぞいて、全て世界測地系にもとづいたものになります。

2005年2月1日から吾妻山の火山活動度レベルの提供を開始しました。
詳細は気象庁のホームページをご覧ください。

次回の火山活動解説資料は、2005年3月8日(火)に公表する予定です。

仙台管区气象台のホームページ(<http://www.sendai-jma.go.jp>)

気象庁のホームページ(<http://www.jma.go.jp/>)